

1	組織名称(略称)	Ethernet Alliance http://www.ethernetalliance.org/						
2	分類	活動目的	—	仕様策定	○	実装・検証	オープン ソース	該当なし
			○	試験・認証	◎	普及・啓発		
			—	その他()				
	技術MAP	対象技術分野	① 通信技術(コア、インフラ関連)		対象サービス		⑨ 複数のサービスに該当する	
		活動エリア	① 固定系領域を中心に活動を実施		活動領域		① 物理領域の活動を実施	
3	目的	IEEE標準のマーケティング組織として機能。マーケティング活動の目標は以下の3つ <ul style="list-style-type: none"> ・イーサネットエコシステムの拡張 ・標準によるイーサネット開発のサポート ・既存市場と新興市場の両方でイーサネットを推進 短期的には、イーサネット・アライアンスをIEEE標準に関する主要な情報源として、メンバーや業界全体に情報を提供している。 長期的には、標準ベースのイーサネットを新しいアプリケーションや世界の市場に拡大することを奨励する。また、コアメンバーの技術的ニーズに対応し、イーサネットに関する多くの情報をエンドユーザーと共有することで技術的理解を深めている。						
4	組織構成	理事会は、Chairman 1名(Huawei)、President 1名(Amphenol)、Vice President 1名(Cisco)、理事5名(Broadcom, Intel, Juniper, QLogic, Teledyne Lecroy)の8名からなる。						
5	参加資格費	Ethernetに関心のある組織、団体に参加資格がある。 <ul style="list-style-type: none"> ・Principal Member (\$17,500/year) : 投票権・理事資格有 ・Participating Members (\$9,995/year): 投票・理事資格無し、CommitteeのChairは可能 ・PoE Certification Member(\$3,000/year): PoE(Power over Ethernet) 認証プログラムに参加できる ・Associated Members (\$4,900/year): 売上げ\$10M以下の企業。 ・Consulting Member(By Invitation Only): 理事会招待による大学など非営利団体。 ・Academic Member(無料): 大学など学術機関の教授、学生 						
6	主要メンバー(2018年7月現在)(注1)	主要メンバー <ul style="list-style-type: none"> ・Principal Member 12社: Amphenol, Cavium, BROCADE, CISCO, DELL, Finisar, Huawei, Intel, Juniper, Spirent, TE Connectivity, Teledyne Lecroy うち日系企業: 0 会員数: 80 うち日系企業数: 3(日立、アンリツ、東京大学)						
7	他団体・組織との関係	不明						
8	TTC活動との関連性(注2)	TTCの専門委員会活動との関係(□関係あり、☒関係なし) 関係する場合の専門委員会名(右欄より選択) 理由: イーサネットの標準化ではなく、普及促進、産業育成を目的とした団体であるため、TTCとの関連性は低い が今後のイーサネットの方向性をみる上で動向を把握する必要がある。					アイテムを選択してください。	
9	活動状況	<プレスリリースより> <ul style="list-style-type: none"> ・June 13, 2018 次世代の Power over Ethernet(PoE) ウェビナーを 2018 年 6 月 26 日開催。 ・March 8, 2018 OIF と Ethernet Alliance は 400Gbps イーサネット(400GbE) のデモンストレーションを発表。 ・JANUARY 16, 2018 新しい PoE 認証プログラムを通過した最初の 37 製品の認 						

		<p>定を発表。ニューハンプシャー州 InterOperability Laboratory (UNH-IOL) でテストした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・January 8, 2018 IEEE 802.3bs イーサネット規格 (Ethernet Access Control Parameters、Physical Layers) の改訂を承認。200Gb / s および 400Gb / s の管理パラメータを規定。 ・October 3, 2017 イーサネット・アライアンスと NBASE-T アライアンスは、第 2 回共同プラグインをホストしていることを発表。NBASE-T と IEEE 802.3bz™ 製品の相互運用性を実証することに焦点を当てる。 ・September 12, 2017 新しい PoE (Power over Ethernet) 認証プログラムを公開した。 ・June 26, 2017 2017 年 6 月 26 日～30 日にニューハンプシャー州 InterOperability Laboratory (UNH-IOL) で今週開催されるマルチベンダープラグフェストを発表。テストイベントでは、25GBASE-R と 100GBASE-R 高速イーサネット技術に焦点を当てている。 		
10	設立時期	2005 年 8 月 (公式アナウンス: 2006 年 1 月)		
11	本部所在地	<p>Ethernet Alliance Administration: 3855 SW 153rd Drive Beaverton, OR 97006 admin@etheralliance.org</p>		
12	関連標準化技術	<p>主要な IEEE 802.3@イーサネット規格を推進する。 IEEE 802.3bpt、IEEE 802.3bqp、IEEE 802.3brp、および IEEE 802.3byp の IEEE Standards Association (IEEE-SA) など 現在は IEEE 802.3 PoE standards の機器認定に注力している。</p>		
13	権利関係 (IPR Policy, Bylaws など)	<p>IPR Policy http://etheralliance.org/wp-content/uploads/2012/11/EA_PnP_v1.9_10.25.16_Final.pdf Bylaws http://etheralliance.org/wp-content/uploads/2011/10/EA-Bylaws_V2.4final.pdf</p>		
14	備考 (普及状況など)	IEEE 802.3 シリーズは有線 LAN の標準として世界中に広く普及している。		
15	更新履歴	2018年6月28日	初版作成	担当: 齊藤 (OKI)
		2018年7月27日	更新	誤記訂正等

(注1) 日系企業とは親会社が日本企業かどうかで判断する。

(注2) 「TTC活動との関連性」とはTTCの専門委員会の活動と関連しているかを示す記載とし、理由には具体的な専門委員会名と関連している部分等を記載する。